全建連新聞

社団法人　全国中小建築工事業団体連合会
東京都港区赤坂2丁目2番19号　〒107
アドレスビル内
電話03 586 3381
購読料送料共
半年200円1ヵ年400円

規模/技術/品質を誇る
建設省防火建築材料認定品
三菱石膏ボード
発売元　三菱商事株式会社
製造元　日東石膏株式会社
日東石膏ボード株式会社
日本石膏ボード株式会社

晴れの栄誉を受章

黄綬に今井・北川氏
勲五等＝上野・中川氏
卓越技能者章＝石川氏

政府は文化の日の十一月三日、昭和五十年度秋の叙勲受章者を発表、続いて八日、建設業関係功労者の国家褒章受章者を発表した。全建連から上野金太郎氏が勲五等双光旭日章に、中川久豊氏が同瑞宝章を叙せられ、黄綬褒章受章の栄に今井喜三会長、北川平三郎副会長が浴された。

◇◇◇◇ 黄綬褒章

建設関係功労者の国家褒章伝達式は十一月二十日建設省において行なわれ、仮谷建設大臣より全建連今井喜三会長、同北川平三郎副会長はじめ七五氏に褒章が伝達された。

今井会長は受章後褒章を胸に「本日の受章は私の栄与というよりも全建連の組織、活動が内外に評価されてきた証左であり、設立以来今日まで私と共に励んでいただいた会員各位の努力の結晶とうけとめたい」と語り、天皇陛下に拝謁のため皇居にむかった。

今井会長ご夫妻

北川副会長

今井喜三氏

全建連会長、東京都建築組合連合会長、今井建設株式会社代表取締役、六三歳。

北川平三郎氏

全建連副会長、京都府建築工業協同組合理事長、北川工務店社長六五歳。

◇◇◇◇ 秋の叙勲

今年度建設関係秋の叙勲伝達式は十一月十三日、建設省十階会議室に受章者九六氏が招かれ盛大に挙行された。勲五等双光旭日章受章の中川久豊氏も夫人とともに出席、喜びと緊張のうちに仮谷建設大臣より勲章の伝達を受け、あと皇居において天皇陛下に拝謁した。

中川氏

上野氏

上野金太郎氏

五六年間建設業に従事、この間適正施工に努めるとともに、労働災害の防止を実践、また団体役員として業界の体質改善に貢献している。全建連元副会長、七一歳、東邦建設（株）代表取締役、現住所・東京都練馬区向山2の11の6

中川久豊氏

六二年間住宅建築に従事、中小建築業者の近代化に貢献するとともに後進の指導技能者の確保に尽力している。秋田県建設技能組合連合会相談役。七五歳。中川工務店代表、現住所・秋田市下新城中野字街道端西十六。

石川氏

◇◇◇◇◇◇ 労働大臣表彰

卓越技能者

全建連評議員会長の石川金三氏が大工部門で本年度卓越技能者表彰を受けた。

労働省は十一月十日、東京・中野サンプラザ国際会議室で長谷川労働大臣出席のもと、それぞれの分野で卓越した技能をもち、後進の指導に尽した一〇〇名の、いわゆる現代の名工を表彰した。建設関係では大工、左官鳶等二七名が受章したが石川金三氏はこのうちの大工部門で表彰をうけたもの。当日受章した石川金三氏は四九年間建築大工として木造建築の設計施工に従事、現地にて教育専門委員会に施工者・経営者の分科会を設置すべきではないだろうかなど多項目にわたりこれからの検討内容が指摘された。

〈教育専門委員会構成団体〉
全建連・亜鉛鉄板会・自動釘打機協議会・全国建設労働組合総連合・全国建築現場金物協同組合・日本建築大工技能士会・日本建築士会連合会・日本分譲住宅協会・日本ホームビルダー協会・日本建築センター　〈順不同〉

優良団体表彰

労働省は十一月四日本年度認定職業訓練校実施優良事業所及び優良職業訓練団体を表彰した。全建連関係では、西播建設業協同組合（松ケ下利雄理事長・西播建設高等技能学校）、秋田建設技能共同高等職業訓練校（池田捷司代表）が受彰した。

全建連新聞50号に寄せて

もっと主張や問題提起を
技術や工法の紹介も豊富に

本会が発足したのは、四年前の四十六年八月二十七日であった。全建連新聞の創刊はその二ヵ月あとの十一月一日号から第一歩を踏み出した。創刊号に当時の原健三郎労働大臣、藤尾正行建設政務次官からお祝いの言葉をいただいたのを思い出す。

機関紙は業界の歴史

今月号でちょうど五〇号をかぞえるが、各号を一枚づつめくってみて、さまざまな感慨が胸をよぎっていく。

さいきんよく激動の時代だといわれるが、この四年間をふりかえるとまさしくそのことを実感する。

本会発足当時の住宅需要は上り坂であったし、住宅産業の将来も明るい展望があった。しかし今はどうか。別に悲観することはないし、こんごとも重要産業として発展性を秘めてはいるが、その内容が質的に変化し、対応がむずかしくなってきた。これは単に不況によるきびしさだけではなかろう。

もっとも、景気のよかった当時でも、小零細企業にとって、不安な材料がなかったわけではない。してみると、いつの時でも小零細企業の生きる道はまことにきびしく、気がゆるせないのが実態だ。

さいきん建設省は住宅建設にあたっている中小零細業者対策に頭をむけてきた。ようやくその果している割役の重要さを認識するようになった。

これも団体の活動があったからにほかならず、全建連新聞もこれにひと役かっていると自負している。

内容充実には つねに反省

これまで全建連新聞の内容について、「記事がかたすぎる」とか「もっと読みやすい内容のものに」など、いろいろなご批判をいただいた。

機関紙の使命は、多くの情報の中から、真に会員の必要なものを正確に、迅速に報道し、これを活用してもらうとともに、会の活動状況をお知らせし、会員相互の連帯性をつよめることにある。その使命を全うするためにつねに改善充実の努力はつづけてきたつもりであるが、まだまだ反省すべき点もある。

とくに当会としての主張、問題提起が十分でないように思う。もちろん団体の主張は、事務局や編集者こんごとも、会員のご批判やご意見をもとに、さらに内容の充実を図り、会員にしたしまれていく必要がある。

木造住宅供給の合理化へ
建設省に委員会設置

建設省は木造住宅供給業務の合理化を促進するため、このほど、「木造等住宅供給業務合理化促進事業計画調査策定委員会」を設け長期的な合理化事業計画の策定に入る。この委員会は東京大学杉山英男教授を委員長に、住宅建設にたずさわる各界の学識経験者八名によって構成されており全建連から中川常務理事がこれに加わるが今後この委員会の調査研究が住宅行政上どのように反映されていくか注目される。第一回の委員会は十二月二日午後、東京港区芝の国際住政策研究所で開かれる。なお委員構成は次の通り。

委員長＝杉山英男（東京大学教授）、委員＝植村尚（㈱・マーケッティング経営研究所長）・山東和朗（㈱・住宅部品開発センター研究部長）・下間弘道（住宅金融公庫建設指導部調査役）・中上英俊（住環境計画研究所長）・松本光平（建築研究所建築生産研究室長）・山口亘（山口工務店社長）・中川勝（社・全国中小建築工事業団体連合会常務理事）

施工重点の研修を
2×4教育専門委員会

十一月四日、東京・八重洲龍名館において2×4工法普及協議会教育専門委員会の初会合があった。当日は、同委員会メンバーの七団体が出席、基準告示以後行なわれてきた講習会等の問題点を検討した。

それによると、①研修内容は施工重点にしたものとすべきだ②経験者のレベルが問題となる③実技面の講習を行なうにしても施設・費用に問題がある④教育専門委員会に施工者・経営者の分科会を設置すべきではないだろうかなど多項目にわたりこれからの検討内容が指摘された。

丸太足場はもうふるーい

特長
1. 組立て時間は丸太の1/3（能率アップ）
2. 丸太と違ってすべらない（安全）
3. 丸太より長持ち（経済的）
4. 現場の搬入搬出が簡単（経済・能率）
5. 現場の移動が簡単（安全）
6. 当社だから出来る低廉な価格とサービス
7. 美観に富み、耐久性がある

壁つなぎ

◆現場事故の大半は、足場からの転落です、今、考える時。

◆お問い合わせは、所属組合か本部まで
全建連賛助会員

枠組足場製造メーカー
名大工業株式会社
本社　名古屋市北区東大曽根本通り6の745
電話　052－915－0211（代表）
工場　尾張旭市庄中町塚坪2206
営業所　大阪・京都・金沢・松阪

あれやこれや

「光陰矢のごとし」と言うけれども、まさにその通りである。「昭和50年の幕明け」「昭和半世紀」などと言っていた正月が、つい昨日のように感じられる▼年末を一層あわただしくさせるのが、「師走」という言葉ボーナス、クリスマス、レコード大賞・紅白歌合戦の話題、大掃除、餅つきの音、年賀状を書いている時などなど……また、忘れてはならないものに「今年の10大ニュース」がある。これも年末をあわただしくさせる一因に違いない。そこで、全建連事務局が選んだ「今年の10大ニュース」とは①広島カープ初優勝②海洋博開幕③天皇陛下ご訪米④エリザベス女王陛下の来日⑤新幹線が博多まで開通⑥興人が倒産⑦内ゲバ・公労ストスト激化⑧企業爆破の犯人逮捕⑨佐藤栄作氏死去――で、これらのすべてが日本国民に影響を及ぼしてきた。また、残りの二つは、事務局として「三億円犯人」のために残しておこうという結論に達したのである。▼建設業界での10大ニュースとまではいかないが、業界の今年の大きな話題はなんと言っても「建設業振興基金の発足」である。殷初の構想から少し後退したものの、共同事業を推し進め、中小建設業者の経営改善を目的とするうちはその役目を果たすと考えられる。はじめから完全なものを目差して発足したのでは、かならずやボロが出るものである。一からはじめて十を作った方が価値あるものと思われる▼しかし三億円犯人は逮捕されるのだろうか。それとも時効を成立させるのだろうか。この事件ほど国民の注目を集めているものはないだろう。何か異質な事件と思われるが、単なる「ドロボー事件」なのだ。でも夢があるドロボーである。年末の夢は……。

技能検定 実技課題発表

本紙既報（43・48号）のとおり、技能検定協会より発表された。そこで本紙ではその課題を一・二級とも掲載しますので、技能検定受験の方のみならず来年度受験しようという方、自分の〝技〟を磨こうという方は本紙を参考にして勉強して下さい。また、実技課題の問題は各地方検定協会におたずね下さい。

実技課題で、一・二級共通の注意事項

（一）使用工具は限定

（二）材料は支給されたもの

（三）加工を誤っても追加支給なし

＜一　級＞

●棒すみ部材の木でしらえと墨付

●時間　四時間三〇分（打切五時間）

●仕様　（抜すい）

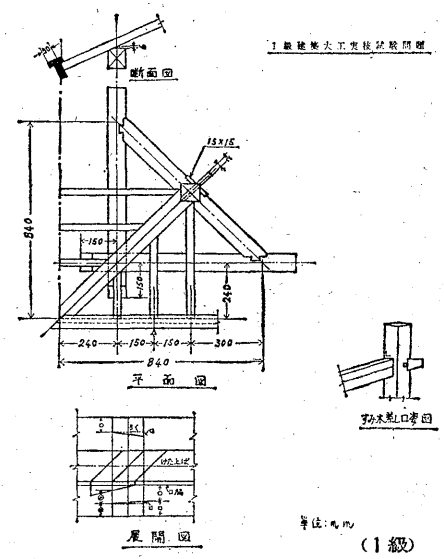
△すみ木は、山を所定のこう配に削り取っておくこと。

△かんな仕上げは、中しこ仕上げ

△すみ木材の上げを除く各部材の面は、ねじれを取り直角に仕上げること。

△すみ木のほぞには、はなせんの穴墨を入れること。

△配付けだる木の墨は、すみ木の両面に付けること。



（1級）

△広こまいと鼻かくしには、上ば留め、向う留めの墨付けをし、かつ、広こまいの木端の前面にけた心及びたる木心を出しておく。

＜二　級＞

●柱たて四方転びの作図と製作

●追加注意事項

（一）埋め木、くさびじめ等は行なわない。

（二）現寸図作成は午前中だけ

●時間　六時間（打切六時間三〇分）

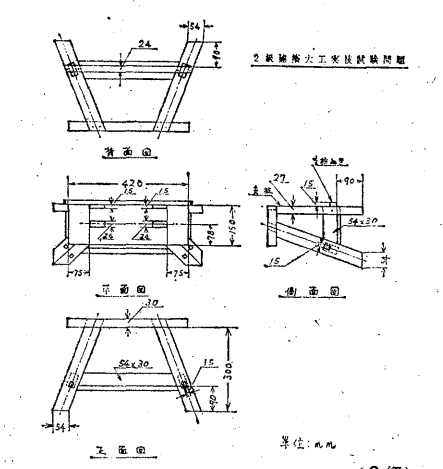
●仕様　（抜すい）

△ぬきのほぞは、小根ほぞとする

△支柱は、天板にくぎ打ちとする

△支柱ぬきは、支柱にくぎ打ちとする。

△妻手ぬきの支柱あたりは、打抜き、くぎ止めとする。



（2級）

雇用促進事業団（公社、公団、事業団など政府関係機関のひとつ）

―職業訓練大学校―

技能士への最短コース

通信訓練生を募集

―十二月一日に実施―

平均六%引上げ

公共工事の労務単価

公共事業の労務費は、毎年建設運輸、農林の三省協定によって決められている。

現行の労務単価は、昨年九月の調査結果にもとづき、本年四月に決めたものであるが、その後春闘により賃金水準が上がったことも あって、建設省など三省は今年七月臨時調査を実施した結果、八職種で平均六%引き上げることになり、このほど三省から地方出先機関、公社公団、地方自治体など主要発注機関に通達された。

改定された新単価は十二月一日より実施されるが、民間工事にも影響があるものと思われる。

2×4工法の体験発表

ホームビルダー協会

全建連と同じく2×4工法普及協議会の教育専門委員会メンバーのホームビルダー協会（海野林作会長）は、十一月十七日、中央公論ビルにおいて「2×4工法の体験発表会」を開いた。

これは、同会々員で2×4工法による住宅を十棟以上建てた会社を全国より集め、その問題点を話し合ったものである。それによると、①確認申請の時、担当官が2×4工法をよく知らないの在来工法に比べ施工図等の枚数が多いため、注文住宅は特に注文から着手まで時間がかかりすぎる⑥現在のところ、在来工法も2×4工法もコスト的にはさほど変わらない④大工さんの意識を変えるのに時間がかかる⑤客層が若くなっているので、客層の意識としては在来工法も2×4工法も同じようで、総合的には2×4工法の方が買いやすいようだ――など種々の体験的問題点が発表された。

ホームビルダー協会は、これらの問題点をどのようにしたら解決出来るか等、当日は午後五時頃まで熱心に協議を続けた。

工程映画完成

「カナダ・ブリティシュ・コロンビア州林産業審議会」の製作による映画試写会が行なわれた。この映画は日本における住宅問題に対応して枠組工法がこれらの諸問題にいかに対処していくかを示唆することと、枠組壁工法による建築プロセスを紹介しようというものである。映画のあと、カナダで二五年間、製材関係の品質管理にあたってきた藤本義男氏が、記者団の質問に答え、日本とカナダにおける流通機構や材質検査の相違点等、2×4工法の将来について語ってくれた。また、この映画は、関係者に無料で貸し出しを行なうことになっている。

会員ひろば

◆2×4工法講習会

平地区大工組合（木村長久組合長）では十一月二十一日、いわき職業訓練センターにおいて2×4工法の技術基準講習会を開催した。当日は昨年の同工法指導者研修に参加した組合員を講師として組合役員約二〇名が参加した。なお、実技面の研修会も一月か二月に実施する計画である。

◆青色学校を開校

中原建設連合会（田辺繁太郎会長）は、十一月二十五日より二十八日まで川崎北税務署の協力を得て、建設業専門の青色学校を開校した。これは、以前の青色講習会では他業種にわたっているためわかりにくい点があったものを、同組合が建設業者に焦点を合わせた税務講習会にしたもので、今回が三回目になる。受講者は約四〇名

◆秋季大運動会を開催

長崎建設組合（徳永末五郎組合長）では、十一月三日に資材販売店等の後援を得て秋季大運動会を催した。会場となった長崎福田遊園地には、約四〇〇名の組合員・家族が集まり各競技に熱戦がくり広げられた。

工務店めぐり

金づち握って半世紀

北川工務店

今もなお日本人の心に誇りを思い出させてくれる都、京都。その京都では最大の事業協同組合である京都府建築工業協同組合の第九代理事長である北川平三郎氏に登場頂いた。

大工は体得するもの

北川さんの組合歴は金鎚を握って一人前になった頃から始まったというから、本業と組合活動を両立させてきたことになる。そして、組合での後進の育成から自分の弟子に至るまで、ある一つの信念を持って指導してきたという。その信念とは、「大工とは、ノートや手帳に書いて覚えるものではなく毎日毎日の積み重ねで一人前になれるもの」ということで、これは同氏の修業時代につちかわれたものらしい。

その修業時代とは、一六才頃父親の知り合いに出され、年期のあけるまでの六年間もほめられたことがなかったという厳しいものだったという。後からわかったことだが、その親方が滅多にほめない人で、決して北川さんが下手だったということではないらしい。

親方がたまにほめる時は、「まァまァだな。」で、これが最高のほめ言葉だったという。

その親方のもとで、北川さんが初めて一軒建てた時、今までに聞いたことのなかった「まァまァだな。」の言葉が聞かれ、それから建てた数軒全部がそれに該当したという。そして、滅多にほめない親方は失敗した時にも決して怒らずくどいほど説明してくれたという。

このように、耳と腕、つまり体で〝技〟を覚えた北川さんはこの教え方に対して「この期間中に規律というものを知り、長所を生かされた」と語ってくれた。そして、その指導方針は、前述した信念となって北川さんに受け継がれ、また、その息子さん達が現在受け継いでいる。

近く株式会社に

北川工務店は、初代から正確な見積りをしており、よくいう「どんぶり勘定」は一度もしたことがないと言う。これを同氏は「お客さんから喜ばれているし、父親からそのようにやってきたお陰で、半径二キロ以内はほとんどうちのお客さんです」と語ってくれた。

また、そのように堅実な経営を続けていたため、前年の不況の際、全般的に仕事が減ったけれどもやってこれたという。

現在、同工務店は長男と三男の息子さんが継いでおり、仕事の範囲も木造から鉄骨まで巾広く行っている。また、同工務店は以前からの下職さんを大切にしており、年三回の親睦会は、顧客回り同様欠かさず行なっているという。

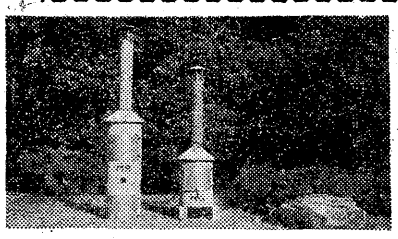
このように、北川さんの大工としての〝技〟、また組合運営・後進の育成等の功績は、昨年度の建設大臣表彰、今年の黄綬褒章として現われ、父親から受け継いだ店舗の信用も、近く株式会社に改組して不動のものとなる。

▽北川平三郎

▽京都市伏見区桃山鳥町町16

北川さん（建築競技大会にて）

◆高性能・新製品◆ MS焼却炉



◆半永久の耐久力!!
◆ポリ容器のガスに強いので鉄製の3~5倍は長持ちします。
◎中小工務店・建築関係は3号器が適当と思われます

☆お申込先……株式会社 日勢（〒160 東京都新宿区新宿1―23―16）

……きりとり線……

5号器（家庭用）	50,000円	（住所）	
4号器（家庭用）	70,000円	（氏名）	
3号器（業務用）	100,000円		
2号器（業務用）	180,000円	注文器　号	支払方法：分割／現金
1号器（業務用）	200,000円		

☆社会のゴミ公害に貢献する最高の新兵器

〝完全燃焼、煙が少なくガラス、野菜も焼却〟

◆特長（1）本体は特殊高圧コンクリート管を使用し総鉄筋入りで高温に強い。
（2）安全設計、内部1300°C、外部ヤケドしない、子供でも安心して使用出来る。
（3）燃焼力が強いので煙、灰は特に少なく、また特製穴の子陣笠使用。

1号器	2号器	3号器	4号器	5号器
全高 3200%	全高 2765%	全高 2605%	全高 2200%	全体 2200%
本体高さ 2100%	全体高さ 1665%	本体高さ 1550%	本体高さ 1100%	本体高さ 1100%
本体直径 608%	本体直径 608%	本体直径 530%	本体直径 608%	本体直径 530%
煙突長さ 1100%	煙突長さ 1100%	煙突長さ 1100%	煙突長さ 1100%	煙突長さ 1100%
容積 500ℓ	容積 380ℓ	容積 230ℓ	容積 1150ℓ	容積 120ℓ
ゴミ投入口480×580%	ゴミ投入口480×580%	ゴミ投入口400×280%	ゴミ投入口400×280%	ゴミ投入口400×280%
煙突内径 150%	煙突内径 150%	煙突内径 150%	煙突内径 150%	煙突内径 150%
本体肉厚 42%	本体肉厚 42%	本体肉厚 35%	本体肉厚 42%	本体肉厚 35%

【総発売元】……株式会社 日勢
〒160 東京都新宿区新宿1―23―16 電話 356―0812・0813